



## 安全データシート(SDS)

作成 2014年 5月14日

### 1. 製品及び会社情報

製品識別

製品名 FERROFORM ECO 871 SPRAY

物質又は混合物の推奨用途及び推奨できない用途

推奨使用用途 エアロゾル  
潤滑剤

安全データシートの供給業者の詳細

製造/販売業者

会社名 FUCHS LUBRITECH GMBH  
住 所 Werner-Heisenberg-Straße 1, D-67661 Kaiserslautern / Germany  
電話番号 +49 (0) 6301 3206 - 0  
ファックス番号 +49 (0) 6301 3206 - 940  
電子メール reach@fuchs-lubritech.de  
インターネット www.fuchs-lubritech.com

お問い合わせ先

Product Safety Management  
電話番号 +49 (0) 6301 3206 - 0  
ファックス番号 +49 (0) 6301 3206 - 940  
電子メール(担当者) reach@fuchs-lubritech.de

緊急連絡先

電話番号 +49 (0)171 / 4632154  
06301/3206-808  
この番号は営業時間のみ使用可能です。

### 2. 危険有害性の要約

物質又は混合物の分類

67/548/EEC 又は 1999/45/EC による分類  
F+; R12

R-phrases

12 引火性がきわめて高い。

ラベル要素

1999/45/EC によるラベルリング

ラベルの注意事項

本製品は EC directives/German regulations on dangerous substances に従って分類及びラベル付けして  
います。

分類は substance directive (67/548 / EEC )の判定方法に従って実施しました。

F+ 引火性がきわめて高い。



#### R-phrases

12 引火性がきわめて高い。

#### S-phrases

23 ガス/煙/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

51 換気のよい場所でのみ取り扱う。

#### ラベリングのための有害成分

エタノール

#### 特定混合物のラベル追加要素のための特別な規則

加圧容器: 直射日光から保護して、温度が50℃以上にならないようにして下さい。

使用後も穴あけや加熱をしないで下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

裸火や白熱物質に直接スプレーを吹きかけないで下さい。

着火源から遠ざけて下さい。 — 禁煙

屋外又は換気の良い場所で可能な限り作業して下さい。

#### その他の危険

##### 人と健康のための危険に関する特別な情報

本製品は蒸気と空気の混合物が爆発/引火を引き起こす可能性があります。

### 3. 組成、成分情報

#### 物質

適用外

#### 混合物

##### 概要

有効成分: 合成油、溶剤、添加剤

噴霧剤: 二酸化炭素

#### 危険成分

CAS No.	EC No.	物質名	wt%	67/548/EEC による分類
64-17-5	200-578-6	エタノール	ca. 50	F R11

#### 追加情報

適切な取扱い及び保管をしている場合は特にありません。

### 4. 応急措置

#### 応急措置の説明

##### 一般情報

衣類に付着した場合は速やかに着替えて下さい。

衣類を乾燥させる場合は製品を完全に除去して下さい。

##### 吸入した場合

新鮮な空気を確保して下さい。

気分が悪い場合は医師に連絡して下さい。

##### 皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、石鹼と水で洗い流して下さい。

有機溶剤を使用しないで下さい。

皮膚の炎症が続く場合は医師の診断を受けて下さい。

#### 眼に入った場合

眼に入った場合は、多量の水で注意深く洗浄して下さい。  
症状が続く場合は、医師の手当てを受けて下さい。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせないで下さい。  
医師の治療を直ちに受けて下さい。  
医師に容器又はラベルを見せて下さい。

#### 最も重要な急性、遅延性の症状

##### 医師への情報 / 考えられる症状

下記の症状が発生する可能性があります。

凍傷  
咳  
せん妄状態  
麻酔状態  
頭痛

#### 即時に処置が必要な徴候及び特別な治療

##### 治療(医師へのアドバイス)

症状に適した治療をして下さい。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

##### 適切な消火剤

泡  
二酸化炭素  
粉末  
霧状の水

##### 使ってはならない消火剤

水の棒状噴射

#### 物質または混合物から生じる特別な危険性

有機物の火災ガスは常に呼吸毒として分類する必要があります。

#### 消防士のための情報

##### 消防士のための特別な保護器具

自給式空気呼吸器を使用して下さい。

#### 追加情報

火災の危険にさらされた容器は霧状の水で冷却して下さい。  
長期間加熱された場合は爆発の危険があります。

### 6. 漏出の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の処置

十分な換気を確保して下さい。  
着火源を遠ざけて下さい。  
製品の漏れやこぼれによる滑り転倒の危険に注意して下さい。

#### 環境に対する注意事項

排水、地下水、河川等に放出しないで下さい。  
広域への拡散を防止して下さい。(例:油障壁, コンテインメント)  
霧状の水でガス, 蒸気, ミストを抑制して下さい。  
土壌/地下に放出しないで下さい。

封じ込めのための道具と方法及び清掃除去方法

室内の場合は十分な換気を確保して下さい。

回収又は廃棄に適した容器に回収して下さい。

吸着材(例: 砂、おがくず、汎用バインダー、珪藻土)で残留物を取って下さい。

追加情報

廃棄のための情報は項目13を参照して下さい。

その他の項目への参照

利用可能な情報はありません。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

十分な換気を確保するために、換気が十分な作業場であっても必要に応じて局所排気装置を使用して下さい。

火災や爆発に対する予防措置

着火源に近づけないで下さい。－禁煙

製品は可燃性です。

蒸気は空気と混合することによって爆発性の混合気体を形成することがあります。

火の近くでは爆発による火災の拡大、及び怪我の危険性があります。

混触禁止物質を含む安全な保管条件

保管所と容器への規定

製品容器に密閉して保管して下さい。

階段や通路に保管しないで下さい。

混触禁止物質に関する情報

酸化剤、自己可燃性物質と同じ場所に保管しないで下さい。

保管状態に関する追加情報

製品の容器に密閉して保管して下さい。

換気の良い冷暗所に保管して下さい。

熱や直射日光から避けて保管して下さい。

乾燥した場所に保管して下さい。

涼しい場所に保管して下さい。熱により圧力が増加して爆発する危険性があります。

貯蔵安定性に関する情報

保管時間 24ヶ月

Storage group 2B

Fire class B

特定の最終用途

利用可能な情報はありません。

8. 暴露防止及び保護措置

制御パラメーター

職場で暴露限界を有する監視対象物質

CAS No.	名前	Code	mg/m <sup>3</sup>	ppm	備考
64-17-5	エタノール	8時間	960	500	2(II) DFG.Y

追加情報

この情報は有効な文献を基にしています。

暴露制御

呼吸器の保護

決まった器具/機器はありません。

手の保護

手袋に適した材質の選定は、材質自体の性質だけでなく、手袋の品質にも影響を受けます。

複数の物質からなる調剤剤であるため、手袋に使用されている材料の耐性を予め決めることはできません。

ニトリルの保護手袋

ブチルゴム手袋

眼の保護

飛沫する場合は保護眼鏡

皮膚の保護

一般的な化学工業用の作業服

一般保護対策

エアロゾルを吸入しないで下さい。

眼や皮膚との接触を避けて下さい。

適切な衛生対策

作業場では飲食、喫煙、薬の服用は禁止して下さい。

化学製品を取り扱う際の一般的な産業衛生規則を遵守して下さい。

作業場では飲食物を保管しないで下さい。

システム設計上の追加情報

十分な換気を確保するために、作業場には必要に応じて換気装置を設置して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

基礎的な物理化学性状

形状	色相	臭い
エアロゾル	緑色に近い、透明	臭い 甘い

重要な健康、安全及び環境に関する情報

	値	試験方法	備考
pH 20°C			適用外
沸点範囲	適用外		エアロゾル
引火点	12°C		溶剤からの情報
自然発火点			不明
蒸気圧 20°C	5000 – 6000 hPa		エアロゾル缶の圧力
相対密度 20°C	0.83g/cm <sup>3</sup>	DIN 51757	有効成分+溶剤+噴霧剤
水への溶解性			難溶
酸化性			なし
爆発性			なし

その他の情報

使用中及び使用後であっても可燃性混合物を形成する危険性があります。

50°C 以上に加温された場合は、爆発する危険性があります。

本製品の蒸気は空気より重たくなっています。

10. 安定性及び反応性

反応性

利用可能な情報はありません。

化学安定性

利用可能な情報はありません。

危険性のある反応

利用可能な情報はありません。

避けるべき条件

容器内の蒸気圧が高いため、温度が上昇すると破裂する可能性が上昇します。

混触危険物質

避けるべき物質

アミン類との反応

危険な分解生成物

適切な取扱い及び保管をしている場合は特にありません。

熱分解

備考: 指示通りに使用している場合は分解しません。

11. 有害性情報

毒性に関する情報

急性毒性/刺激性/感作性

	値	生物	備考
LD <sub>50</sub> 急性毒性 経口			確定していない
皮膚刺激		皮膚刺激が生じる可能性があります。	長期又は繰り返し接触する場合
眼への刺激性		眼刺激が生じる可能性があります。	飛沫が目に入った場合
感作性		感作性は知られていません。	

使用上の経験

吸入すると頭痛/吐き気を引き起こす危険性があります。

追加情報

利用可能な毒性情報は無い。

本製品は **directive 67/548/EEC** (従来法)の判定基準を基に分類しました。

12. 環境影響情報

毒性

環境への影響

	値	試験方法	検証
魚			確定していない

残留性と分解性

	値	試験方法	検証
生分解性	98%	CEC-L-33-T-82	

本製品は生分解性です。

生物濃縮の可能性

利用可能な情報はありません。

土壌移動性

利用可能な情報はありません。

PBT 及び vPvB 試験結果

利用可能な情報はありません。

その他の副作用

下水処理場

各地域の法規制に従って処理する前に排水に流さないで下さい。

一般的な規制

利用可能な毒性情報はありません。

本製品の漏出物が環境中に流出しないようにして下さい。

13. 廃棄上の注意

製品の推奨

各地域の法規制に従って処分して下さい。

包材の推奨

完全に空になった包材はリサイクルできる可能性があります。

中身が入っているエアロゾル缶は **GGVSEB** に従った換気装置のある容器に入れて収集及び運送して下さい。

各地域の法規制に従ってワンウェイ容器を廃棄して下さい。

一般情報

EWC 規則は、同じ廃棄物でも発生源によって異なった規則が適用されることがあります。そのため、最終利用者が廃棄物を正しい分類で処理する責任があります。

14. 輸送上の注意

陸上輸送 ADR/RID

UN 1950 エアロゾル, 2.1 (D), Classification code:5F

Classification code:5F

海上輸送 IMDG

UN 1950 エアロゾル, 2.1

ラベリング: エアロゾル UN 1950

航空輸送 ICAO/IATA-DGR

UN 1950 エアロゾル, 可燃性 2.1

UN-4G/Y ダンボール箱が必要

使用者のための注意事項

利用可能な情報はありません。

Annex II of MARPOL 73/78 と the IBC Code によるバルク輸送

利用可能な情報はありません。

15. 適用法令

物質または混合物のための安全、健康、環境の特別な法律/規制

VOC 標準

VOC 含有量: ca.52%

国際規制

その他の規制、制限及び禁止則

注意: TRG 300 "Aerosole" (GER)

Water hazard class 1

Decree for case of interference/ remarks

Mixture-WGK according to VwVwS (GER) preliminary

Annex I, Nr.7b

化学物質安全評価

利用可能な情報はありません。

日本の法律

消防法

危険物第4類アルコール類 水溶性

その他、お使いの地域における地方条例等の法規制等にも注意して下さい。

16. その他の情報

訓練方法

このSDSを参照して下さい。

使用と制限の推奨

国内、国外に関する化学物質の法規制を遵守して下さい。

警告情報を遵守し指示に従って使用して下さい。

追加情報

本 SDS にある情報は、現在知りうる知識を基に、安全の観点から当該製品について述べたものです。

Product information を参照して下さい。

情報源

原料の SDS

項目3において記載された R/H- phrases の表現(製品の分類ではありません)

R11 引火性が高い。

記載内容の問い合わせ先

会社名	フックスジャパン株式会社
住所	三重県伊賀市大内字三郎谷408-3
担当部門	技術部
電話番号	0595-20-1114
ファックス番号	0595-20-1056

改訂履歴

作成 2014年 5月14日(翻訳)

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定事項にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また注意事項等は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

また、現場責任者は取扱いについて十分に現場作業の方へ教育を行って下さい。

本SDSは、輸入先の英文SDS (FERROFORM ECO 871 SPRAY: Revision 01.08.2012 (GB) Version 2.1)を元に作成しております。

日本の消防法については記載をしていますが、その他の日本の法規制には対応しておりません。